

磐城時報

日刊 一十夕
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金拾圓
廣告料一行十四字日金五字
▲日刊 日曜(祭日)休刊

裁判所の注意で

投網を見合はす

小名濱大敷網問題 然し形勢依然険悪

小名濱町大敷網問題は白井氏側で高橋氏側を相手取り業務妨害の告訴を提起すると同時に假處分の申請をしたので一方高橋氏側からも平署に對し權利擁護を願ひ出でたが、それがため警察當局では手をつける事が出来ず傍觀の立場にあるので兩者の對抗は益々深刻化して來たかの如く危険な状態にあるため假處分の申請をうけた平區裁判所では事態を益々悪化させるやうな事をあつてはならぬと兩者の衝突を避けさせ同時に兩者を妥協させるため十日投網する豫定であつた白井氏側に對し投網を延期するやう注意したので流血の慘事は免れたが、然し依然として險惡な空氣は漲つてゐる。

酒と砂糖の消費 高

昨一ヶ年間平署に到着した各種砂糖の總噸数は實に二千九百九十一噸の實數五十九萬五千五百七十七と。

武德會石城支部で 功勞者を表彰

昨十日忠魂祭を卜して

武德會石城支部では十日午前十一時から弓道、劍道の試合を行ふに先だつて功勞者表彰を行つたが、その氏名左の如し。

▲木杯一組 山崎與三郎、伏見彦衛、下野十郎、本間武、室直興、堀井正直、鈴木忠正、飯田一二、腰塚小彌吉、渡邊太次郎、望月辰藏、廣木榮之助、猪狩菊三郎、梅津松吉、▲木杯一個 木村徳三郎、吉田佐内、菅野又三郎、菅野三郎、小野萬吉、菅野佐一郎、鈴木學校教諭心得杉本翠(四一)並にを行つたが表彰者左の如し。

警女校の 戀愛教諭

一名共解職

戀愛沙汰で騒がれた警城高等女子同町海岸で舉行各組の表彰式を行つたが表彰者左の如し。

引下げ運動

火災保険率

平町火災保険料率引下げ運動については屢報の如くであるが十日午後四時から平町役場に於て大体的な長さを他の直感するに困難な者が多いため大多數の人々は従来の名稱によつて計算してゐる有様であるが、今十一日はメートル法發布の五週年記念日に當つてゐるので平警察署

来る二十日平町で 聯合消防檢閲

集る組員四千二百名 終つて公園で觀櫻會

平警察署管内四町十八ヶ村聯合消防檢閲は櫻花爛漫の四月二十日午前九時から平町八幡小路グランドで舉行する事に決定したが、當日は中村警察部長が來平して機械器具の檢閲を行ふ外各組の操練を檢閲し、且つ優良組員を表彰する筈である、當日平町に參集する組員は四千二百名で檢閲が終つた後松ヶ岡公園で各組毎に觀櫻會を催はす由であるから今春花時の最も賑やかな日であらうと察せられてゐる。

五週年紀念を卜して

メートル法大宣傳

メートル法が實施され長き、重平町役場では聯合して左の如きさ、容量等殆んど凡てがメートル法によつて計量されるに至つたが、古くからの記憶が残つてゐるため従来の名稱に比べると大体的な長さを他の直感するに困難な者が多いため大多數の人々は従来の名稱によつて計算してゐる有様であるが、今十一日はメートル法發布の五週年記念日に當つてゐるので平警察署

手斧を揮つて 背中斬りつゝ

逃走した處を捕ける

警崎村大字藤原三井炭礦坑夫安達孝三が逃走した、急報に接し高子請達郡仁井田村大字上ノ臺生れ渡願巡査現場に急行犯人を逮捕し邊喜作事渡邊喜造(四一)は十日平署に引致の上目下嚴重取調中である。

平町附近の地形 地質學的考察數項

(一) 警校女教諭 山口 彌一郎

周縁に流れてゐる河は皆、その高原に喰ひ入つて、若い谷を造つてゐるが、一度浸蝕されて準平原化されたものが、再び隆起して、現在の様な山形になつたのを、またも低くし様としてゐるのである。尚ほ縦断に斷層が數多走つてゐる、種々な形状の小地塊を區分して、一見簡單な様な山地も實は非常に複雑な、地史と地形とを物語つてゐるものである。花崗片麻岩が占めてゐるが、秩父古生層や、白雲層、殊に東部海岸に第三紀層の帶狀をなして接してゐるのが、注意を惹くのである。常盤炭田として名高いのは、その東部海岸の第三紀層の下部にある炭層のためである。

▲夏井川溪谷
小川郷に下車して、夏井川に沿ふて、西に進むと、第三紀層よりなる低い山地が現れて、花崗岩類の若い谷には入つて行く。阿武隈山地を横ぎ

同じ、百メートルは電柱三本の間隔にほぼ同じ
一リットルはほぼ五合五勺の重さが一キログラムで新聞紙五十枚の重さです
一キログラムはほぼ二百七十匁で嵩は一リットルです
▲舊式な尺、貫、斛を廢して便利なメートル法を使ひましょう

昭和四年四月十一日
平 警 署
平 町 役 所
石城メートル促進會

松ヶ岡公園の

剣道試合成績

昨日平野町松ヶ岡公園で舉行した剣道成績左の如し。

▲一等三瓶(六人抜) ▲二等志賀(五人) ▲三等佐藤(五人) ▲四等堀(四人) ▲五等鈴木(四人) ▲六等根本(三人) ▲七等石川(三人)

◎各村對抗試合 ▲一等澤渡村(二十九点) ▲二等平野(二十五点) ▲三等磐崎村(二十二点) ▲四等好間村(二十点) ▲五等赤井村(十七点)

平野町で

突如十二日ヨリ

公開の期待篇

マキノ西條照太郎作品

月形陽候超特作!

救を求むる者

流行小唄映畫超特作

可憐夢路小夜子主演

君戀し

レフューの巨星

獨唱 ○○○○出演

帝キネ超特作

剣王市川百々之助大熱演

決死的撮影記念

白蟻 十五篇

新案無念無想横一文字の構

ヒルあります 有聲座

(九ツ)は去る九日午後一時ころ

學友三名と共に學校の歸途湯本

泉間常磐線落合鐵道線踏切に

さしかつた際下り貨物列車が

進行して来たので待ち合せ通過

(六〇)の一人息子除光安(二八)後踏切を横切らんとした刹那上

は今から五年前幼學の目的で東り旅客列車が進行し来たつた爲め

都に出て國元から惠まれる月々逃げる暇もなく身体を滅茶苦滅

の送金をあらぬ方に費し面目なしに轢断され六十間余を引づられ

くて名を佐藤安藏と稱し石城の無慘の死を遂げた、同踏切は非

炭礫に働らいてゐるらしい、常に危険なところとして魔の踏

を案じて平野に對し旅費として

二十圓を封入説諭願ひを申し出

てたため平野猪狩署長も非常に

同情し駐在巡查をして親切丁寧

に居所を探らしたが居所が判ら

ぬのでその旨を付して二十圓を

返金した。

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

校尋常二年生富岡松吉三女こと

踏切で

小學生慘死

石城郡磐崎村下船尾同村小學

鳥柳天 柳天 井川 榮

仕出しは迅速配達致します

平野町平野館隣り

電話四二四番

腸胃 専門 村松

内科 腸胃病 胃腸病

十二指 腸胃病 胃腸病

婦人科 婦人病

皮膚科 皮膚病

院 醫 科 (七〇一話電 町 南 平)

共ト存共△ 融金ノ易簡△ 蓄貯ノ味趣△ 堅ト意誠△

平野町平野館隣り

電話四二四番

痔の高級内服薬

ダイサン錠

平野町平野館隣り

電話四二四番

本校年中行事の一であります

卒業製作品展覧會開催

一般在校生製作手藝品バザール開催

藤田女學校バザー

一、期日 四月十三、十四、十五日(午前八時午後四時迄)

二、品目 縮緬重物、各種手藝品二千余點

裁縫物、刺繡應用、造花、グレープペーパー

マクラメ細工、小細工物、其他編物各種

◎外に生花陳列會、詩南社の書畫展覽會も有ります

福島縣平野町(電話三二八番)

文部大臣 藤田女學校々友會

認誰人も是非御來觀下さい

木村寅次郎

内臓外科 専門 藤本順

骨關節外科 専門 藤本順

整形外科 専門 藤本順

産婦人科 長 木村寅次郎

外科 科

産婦人科 科

平野町新川町(電話一六四)

木村醫院

最新滋強

回春劑 **ビーナス** 定價 三圓 五圓 拾圓 廿圓

◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等

平野町平野館隣り

電話四二四番

市原病院

平野町平野館隣り

電話四二四番

内科、小兒科、婦人科、外科、梅毒淋疾皮膚病

市原三三男

君はい、型の洋服を求められたね。眺かへ?

いや君コレは例のソレ正札堂

ソレ正札堂

第一の春もの御案内

新色の鳥打帽子

色々變つた子供さんの帽子

ウエンドウは春もの、陳列で気分新らたなるものがあります。何卒御覽下さい。

平野町平野館隣り

電話四二四番

ツルヤ商店

平野町平野館隣り

電話四二四番

朝日

煙突は

石綿セメント製

朝日煙突

絶対に

はやい

経済的

火災の心配がたい

特約店

久益屋商店

電話九三九

久益屋商店

電話九三九

平野町平野館隣り

電話四二四番